平成24年度
熊本市立熊本市民病院研修医募集要項

熊本市立熊本市民病院

〒862-8505　熊本市湖東1-1-60

TEL　096-365-1711

FAX　096-365-1712

病院の概要

沿　　革：熊本市立熊本市民病院は、昭和 21 年に民生病院として発足以来、熊本市が経営する自治体病院として歩んでまいりました。この間、昭和 54 年、昭和 59 年、平成 13 年の増改築により、現在の病院が完成しました。診療科 34 科病床数 562 床（一般病床 550 床、感染症 12 床）を有する地域医療の中核的な総合病院として、年間の入院患者数約 16.1 万人、外来患者数約 24.2 万人を数え、一般医療のほか高度・特殊医療を担当しながら自治体病院としての役割を果たしています。
特に新生児医療については、新生児科 58 床（NICU15 床を含む）を設け、全県下を網羅し、全診療科が 24 時間体制で活動しております。平成 7 年 11 月に集中治療部を設置しました。更に、平成 12 年 4 月に九州では初めての第 1 種感染症指定医療機関の指定を受けています。また、平成 15 年 8 月には、ユニセフ及び WHO が制度化した「赤ちゃんにやさしい病院」認定、12 月には日本医療機能評価機構の「一般病院」認定、平成 16 年 3 月には、総合周産期母子医療センター、平成 17 年 1 月には熊本県下ではじめて地域がん診療拠点病院の指定を受けています。

理　　念：熊本市民病院は、健康を願う市民を支援するため市民と協力し、仁愛と奉仕の心をこめて最善の医療を行います。

基本方針：
1. 地域の基幹病院として、市民の健康と福祉の増進に貢献します。
2. 患者様の権利を尊重し、公正な医療の提供に努力します。
3. 地域の医療機関と連携を行い、最善の医療と患者様に信頼される医療を行います。
4. 患者様の立場を第一に考え、心をこめて看護ケアを行います。
5. 医療の進歩に沿って、病院施設や医療機器の整備と充実を図り、健全な病院経営に努めます。

医療病床数：562 床（一般 550 床、感染症 12 床）
一日あたり平均外来患者数約 994.7 人

医　師　数：126 名　（常勤 89 名、レジデント 20 名　研修医 17 名）

特　　徴：
1. 高度先進医療、がん治療、救急医療、難病治療
2. 感染症病床:感染症第 1、2 種病床を有する、エイズ治療拠点病院
3. 国際医学交流:（独国）ハイデルベルク、（米国）サンアントニオ市との医学交流
4. 臨床研修指定病院（昭和 61 年 3 月指定）
5. 熊本県総合周産期母子医療センター（平成 16 年 3 月指定:NICU15 床、MFICU6 床）
6. 地域がん診療連携拠点病院（平成 17 年 1 月指定）
7. 熊本県予防接種センター（平成 14 年 8 月指定）
8. 日本医療評価機構認定施設（平成 15 年 12 月認定、平成 21 年 1 月更新）
9. 赤ちゃんにやさしい病院（BFH）:（平成 15 年 8 月認定）

学会による認定施設：

日本内科学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本消化器内視鏡学会、日本循環器学会、日本心臓ペーシング電気生理学会、日本神経学会、日本血液学会、日本腎臓学会、日本小児科学会、日本外科学会、日本胸部外科学会、日本乳癌学会、日本消化器外科学会、日本小児外科学会、日本大腸肛門病学会、日本産科婦人科学会、日本整形外科学会、日本リウマチ学会、日本リハビリテーション医学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本泌尿器科学会、日本皮膚科学会、日本眼科学会、日本脳神経外科学会、日本放射線学会、日本麻酔科学会、日本ペインクリニック学会、日本集中治療医学会、日本病理学会、日本大腸癌研究会、日本医療薬学会

プログラム参加施設（予定）および概要：

医療法人ましき会　益城病院（精神病床210床）
医療法人佐藤会　弓削病院（精神病床160床）
山都町立蘇陽病院（一般病床40床、療養17床）
熊本市立植木病院

平成24年度卒後臨床研修プログラム

Ⅰ.プログラムの名称

熊本市民病院臨床研修プログラム

Ⅱ.プログラムの理念と到達目標と特徴

1 研修理念

臨床研修は、医師が、医師としての人格を涵養し、将来専門性とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診察能力を身に付けることのできるものでなければならない。

2 到達目標

1. 行動目標～医療人として必要な基本的な姿勢･態度
2. 経験目標～　A 経験すべき診察法･検査･手技
   B 経験すべき症状･病態･疾患
   C 特定の医療現場の経験

＊ 以上の到達目標のためのプログラムを作成

3 当院の特徴

1. 当院は臨床研修を行うための最適な規模の急性期型病院です。各科の協力が得られ、それぞれの専門家から適切なアドバイスがあり幅広い検討が可能です。(多くの救急症例をスタッフと共に経験し同時に高度な専門医療も研修できます。)
2. 救急外来・救急センター（平成 22 年度　救急車受入れ 1 日平均 11 件）においては数多くの救急の初期診断・治療を経験することができます。
3. 総合周産期母子医療（新生児集中治療・母体胎児集中医療）の研修ができます。
4. 研修当直制度あり、常時当直している内科系、外科系、NICU、産婦人科、及び ICU の医師やその他の科の医師の指導の下に、プライマリー・ケアと救急患者の初期研修ができます。
5. 終了後のコースとして 2 年または 3 年間の専修医制度があり、将来の各科標榜医や認定専修医の受験資格を取得できるように、初期研修と関連させています。
6. 感染症第一種病床を有し、1-5 類感染症（指定感染症）や新感染症の診断と治療を研修することができます。
7. 毎月 1～2 回臨床病理検討会（以下 CPC と略）では、徹底した症例分析を行います。

臨床研修プログラム

1. 基本必修研修科目について
   原則として 1 年目内科（7 ヶ月以上）・救急診療（3 ヶ月以上）・麻酔科（1 ヶ月以上）・外科（2 ヶ月以上）及び 2 年目地域医療（へき地医療）（1 ヶ月以上）

2. 選択科目について
   小児科（1 ヶ月以上）･産婦人科（1 ヶ月以上）・精神科（1 ヶ月以上）ほか 30 診療科より 1 ヵ月以上選択。
   原則として最初の 12 ヶ月に基本必修研修科目内科を研修する。内科の 7 ヶ月は『血液腫瘍内科・腎臓科・代謝内科』、『呼吸器科・神経内科』、『消化器科』、『循環器科』を各々 1 つのグループとして 1～2 ヶ月のローテートで研修する。

精神科については、当院精神科指導医の指示のもとに、益城病院あるいは弓削病院で４週間研修する。２年目必修地域医療は山都町立蘇陽病院にて研修する。
２年目選択科は将来専門とする診療科を中心に関連の診療科での研修（1 診療科 1 ヶ月以上）を 10～11 ヶ月間行う。選択科は 1 年目基本必修研修科目を研修中に研修医の希望により決定する。

研修プログラム（1 年目）

	必修	必修	選択必修
研修科	内科	救急診療	○：麻酔科 ◎：外　科
期間	７ヶ月	３ヶ月	◎：２ヶ月 ○：１ヶ月

（※当院では 選択必修科 外科 麻酔科 ２診療科 を必修としている。）

研修プログラム（2 年目）

	必修	選択必修
研修科	地域医療（院外）	将来専門とする診療科を中心に関連の診療科での研修（精神科、産婦人科、小児科を含む）
期間	1 ヶ月	10～11 ヶ月

研修スケジュールは各診療科によって異なりますが、アウトラインは午前 8 時より、指導医と担当患者の回診・ディスカッションを行い、本日の追加検査等治療方針を決めます。午前中は、超音波検査、内視鏡、透析、心カテ等の検査を行い、午後は午前中に出た検査結果を検討し治療の指示を出します。病棟で検査治療の手技（穿刺、IVH 挿入等）を行い、夕方は各科のカンファレンスに参加します。研修 1 年次は、月 2 回の当直、研修 2 年次は、月 3 回の救急外来診療（当直）があります。指導医の下、救急患者の初期診療にあたりますが、夜間は 6 名のスタッフが勤務しており、研修医だけに外来診療を任せることはありません。救急診療を 2 年間続けることで、幅広い経験を積むことができます。
毎週火曜日は、研修医向けに初期診療実践セミナーがあります。研修医が中心となって、セミナーの内容を決めて専門医に依頼します。月に 1 回の CPC では剖検例の臨床検査・X 線 CT 写真を含めた詳細な検討を行います。

研修診療科の紹介

必修科

- 内科　（呼吸器科、循環器科、消化器科、感染症科、腎臓科、代謝内科、血液・腫瘍内科、神経内科）

  担当医として指導医とともに各分野の患者を受け持ちます（担当患者は常に 5～10 名。内科系の主な診療科を 2 ヶ月単位でローテートします）。剖検（10～13 体前後/年）、CPC に参加。内科全体カンファレンス、気管支鏡、肺機能検査、人工呼吸管理、呼吸器カンファレンス、心エコー、経食道心エコー、心カテ、冠動脈造影、PTCA、ステント留置、心臓電気生理学的検査、ペースメーカー及び ICD 植え込み、頚部血管エコー、脳血管造影、消化管透視、消化器内視鏡、腹部エコー、肝生検、法定伝染病、感染力の強いウイルス性疾患の診断と治療。易感染症疾患患者の感染防止と原疾患の治療、糖尿病、内分泌、血液疾患の研修。腎臓科は血液透析、腎生検を研修。神経内科は神経疾患や多様な急性期脳卒中症例を担当します。

- 救急診療部

  麻酔科出身の救急専門医師がマンツーマンで指導を行います。年間 4,080 件（平成 22 年度年実績）の救急車搬入を受け入れています。常時救急体制が整っており最も研修できる部門です。急性上気道炎などの common disease から、集中治療を要する重症患者、心肺停止患者まで幅広く対応できるようになることを目標に研修を行います。

- 地域医療

  2 年目の 1 ヶ月は蘇陽病院でへき地医療研修を行います。

- 外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺内分泌外科

  外科診断学、術前・術後管理、基本手術手技、切除標本の整理などの研修を行います。年間約 1,100 例の手術があり、緊急手術も多く、幅広い外科研修が可能です。術前・術後及び病理とのカンファレンスは週 2 回行っています。

- 麻酔科

  全身状態を把握するために術前の検査結果の見方から指導します。手技としては血管確保をはじめ気道確保のためのバックアンドマスク換気、気管挿管および人工呼吸器の使用法の研修を行います。また、脊髄麻酔のための穿刺法も指導します。当院は年間 4,000 例以上の手術症例数、3,300 例以上の麻酔科管理症例数を誇っています。周産期症例も多く、新生児麻酔症例は 50 例以上あります。その他幅広い手術が行われているため、麻酔法も多くの種類が経験できます。手術室以外では院内 BLS･ACLS 講習会で研修できます。緩和医療に興味がある方は院内緩和ケアチームへの参加も可能です。

- 小児科グループ　（小児科・小児循環器科・新生児科）

  小児科・小児循環器科・新生児科の三つの診療科から成り、日本小児科学会専門医研修支援施設、日本小児循環器学会専門医研修施設および日本周産期・新生児医学会専門医基幹研修施設に指定され、紹介患者を中心に、県内の二次、三次の新生児・小児医療を担当しています。もちろん、産科の新生児のケアから予防接種など、予防医学・保健活動も行っています。

- 産婦人科

  一般産婦人科の見方を広く研修してもらい、子宮癌、卵巣癌などの悪性腫瘍の診断と取り扱い、多くの子宮筋腫や卵巣腫瘍などの良性腫瘍の取り扱い方を学ぶことができます。緊急手術（帝切、急性腹症）も多くあり、緊急手術の研修も行います。ユニセフから赤ちゃんにやさしい病院の認定を受けています。総合周産期母子医療センターの指定を受けており、いろいろな症例の周産期医学を新生児科との共同で研修することができます。分娩数は約 500 例、手術数は約 600 例で帝王切開術は約 250 例、悪性腫瘍手術は約 50 例です。

● 精神科

当院より近隣の協力病院（益城病院、弓削病院）へ赴任、１ヶ月間協力病院の指導医と一緒に精神疾患の患者を担当医として受け持ちます。協力病院での当直研修もあります。

選択科

● 整形外科

荷重関節外科を主にしており、脊髄外科症例も多く、骨折、外傷等の救急症例も多く受け入れています。リハビリテーションやリウマチに対する研修が可能です。
７名の整形外科専門医の基本指導が受けられ、週３回の検討会があります。

● 心臓外科

年間 200 例の先天性心疾患、後天性心疾患及び大血管疾患の外科治療を研修できます。

● 脳神経外科

成人の腫瘍、脳血管障害、外傷、機能性神経疾患（顔面けいれん、三又神経痛）のほか、小児の水頭症や脊椎破裂、髄膜瘤、頚動脈内膜血栓除去などの手術をおこなっています。脳神経外科領域の救急が研修できます。

● 眼科

症例数は年間外来 16,000 名、手術件数 500 件であり、未熟児網膜症の管理、小児眼科も研修することができます。

● 耳鼻いんこう科

年間 300 例の手術があり、特に頭頚部外科領域の診断に必要な技術と態度を養う研修が可能です。指導医と共に年間 100 例以上の執刀医となることができます。

● 皮膚科

アレルギー性皮膚疾患（アトピー性皮膚炎、蕁麻疹など）や皮膚腫瘍など皮膚科一般を扱って外来患者数年間約 25,000 名（入院患者数年間約 3,800 名）が来院されます。皮膚科一般の研修のほか、特にアレルギー性皮膚疾患（アトピー性皮膚炎、蕁麻疹など）、膠原病性・血管炎群、水疱症などの自己免疫疾患、デルマドローム（内臓疾患の皮膚徴候）、皮膚腫瘍の診断と治療、植皮術などの皮膚外科などが研修できます。

● ひ尿器科

良悪性広い範囲の症例があり、泌尿器科医として必要な基礎知識や手技の研修習得が可能です。年間 180 例の手術、200 例の ESWL を行なっており、腹腔鏡下手術（腎摘など）も積極的に行なっています。

● 放射線科

CT、MRI、RI、Echo、血管造影等が３人の診断専門医によりその日の内に検査読影され画像診断レポートが作成されています。救急の画像診断も随時行なわれています。また、血管塞栓術、血管拡張術、CT 下生検等の IVR も行なわれています。放射線治療も乳腺を中心に多数行なわれ治療成績の向上に役立っています。１から２ヶ月の研修で画像診断や超音波の技術、IVR の体験ができます。

● 中央検査部・検査技術室

当院では生化学検査、生理検査、輸血・血液検査、一般検査、細菌検査など殆どの臨床検査が可能で、多くの優れた検査技師がいます。良き臨床医であるためにはこれらの検査についての基礎的な知識と技術の習得が必要であり、彼らがサポートしてくれます。気軽に足を運んでください。

● 臨床病理科

組織診、細胞診、術中迅速診断、免疫染色、病理解剖など病理に関連することが院内で可能です。病理専門医 2 名と検査技師 6 名で迅速かつ正確な診断を行っています。また、消化器、乳腺、血液、病理解剖症例に関する臨床病理カンファレンスを定期的に行い、総合的な臨床力の向上に努めています。皆さん、病理を活用してください。

病院見学の案内

病院見学会を行います。原則として、３月から８月までの毎週月・火・木曜日に見学者を受け入れます。その他の曜日は問い合わせてください。午前中は研修内容の説明と病院案内、午後は病棟または救急センターでの見学実習を行います。総務課総務係まで、所定用紙に必要事項を記入してFAX、Ｅメールにて見学実習を申し込んで下さい。また、4～5日の複数科見学学習も受け入れます。

申し込み連絡先

熊本市民病院　総務課人事給与班
〒862-8505　熊本市湖東 1-1-60
E-Mail　byouinsoumu@city.kumamoto.lg.jp
電　話　096-365-1711　内線 3654
ＦＡＸ　096-365-1712

熊本市民病院臨床研修説明会のご案内（当院スーパーローテート研修医との懇談会）

期日：平成23年７月16日（土）　16時～18時
場所：熊本市民病院新館４階会議室
申込み方法：総務課人事給与班（電話、FAX、又はＥメールで申し込み下さい。）
E-Mail　byouinsoumu@city.kumamoto.lg.jp
電　話　096-365-1711　内線 3654
ＦＡＸ　096-365-1712

研修終了後の進路

研修終了後どのような専門性に進むかは、責任をもって２年次に定期的に進路相談を行います。当院の後期研修（レジデント）の道もあります。また、各大学への入局についても幅広く相談を受けます。

臨床研修に関する相談、問い合わせは

副院長（研修担当）　外村洋一　までご連絡下さい。
E-Mail　hokamura.yoichi@cityhosp-kumamoto.jp
電　話　096-365-1711（代表）
ＦＡＸ　096-365-1712

出願手続き

１．募集人数　　８名（熊本県の募集定員に準拠するため変動があります。）

２．応募資格　　次のいずれにも該当するもの

（１）平成２４年実施予定の医師国家試験を受験する者

（２）全国マッチング・プログラムに参加する者

３．応募書類

・願　書　　１通（別紙様式）

・履歴書　　１通（別紙様式）

・卒業（見込み）証明書　　１通

・成績証明書　　１通

・返信用封筒

（長３型封筒に出願者本人の宛名を記入し、８０円分の切手を貼ったもの）

４．応募方法

（１）上記応募書類を一括して応募期間内に下記提出先に提出して下さい。

郵送する場合は、必ず「書留」とし、封筒表面に「研修医応募書類在中」と朱書してください。

（２）応募締め切り：平成２３年８月８日（月）（必着）

（３）応募書類提出先

熊本市立熊本市民病院　総務課　人事給与班　宛

〒８６２－８５０５　熊本市湖東１－１－６０　電話０９６－３６５－１７１１（代表）

※　願書､履歴書は熊本市民病院ホームページからダウンロードするか､総務課　総務係まで申し込んでください。

５．選考方法　　書類審査、小論文試験及び面接試験

６．選考日　　小論文試験及び面接試験を下記日程で行います。

平成２３年８月１１日（木）　午後１３時３０分より

（予備日）　　平成２３年８月１８日（木）　同上

なお、試験の詳細は、後日応募者に通知する予定です。

７．処　　遇

（１）身分：非常勤職員の嘱託職員（研修医）月額￥３００，０００

（宿直手当１回２万円は、別途支給）

（２）勤務時間：月～金８：３０～１７：００（休憩時間１２：００～１３：００）

（３）宿舎の有無：有（病院独身宿舎と民間借上げ宿舎）

（４）社会保険の有無

健康保険：有　厚生年金：有　公務災害補償：有　雇用保険：有

（５）健康管理：定期的な職員健康診断を実施する。

（６）医師賠償責任保険の適用の有無：任意加入

（７）研究会への参加の可否：研修の妨げにならない範囲で可、国内学会発表時旅費支給

＜お問い合わせ先＞熊本市立熊本市民病院

事務局　総務課　人事給与班　　（担当者　酒井）

〒８６２－８５０５　熊本市湖東１－１－６０

電　話　　０９６－３６５－１７１１（代表）内線３６５４

ＦＡＸ　　０９６－３６５－１７１２

Ｅ－Ｍａｉｌ　byouinsoumu@city.kumamoto.lg.jp

受験番号	※

平成24年度熊本市立熊本市民病院

研修医選考試験願書

熊本市立熊本市民病院長　殿

出願者	ふりがな		性　別
	氏　名		男　・　女
	生年月日	昭和　　年　　月　　日生（　　歳）	
	現住所	（〒　　－　　） （TEL　　－　　－　　）	
	E-Mail		
	最終学歴	大学 昭和・平成　　年　　月　　卒業（見込）	

※欄は、記入しないで下さい。

選考日は、　　8月11日（木）　　8月18日（木）　　を希望します。

（8月11日は、どうしても受験できない人のみ8月18日可）

〇で囲んでください

平成24年度熊本市立熊本市民病院研修医選考試験を受験いたしたく、関係書類を添付の上、申し込みます。

平成　　年　　月　　日

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

受験番号	※

履　歴　書

ふ り が な				写　　真 写真については、 3ヶ月以内に撮影 したものを使用。 年　月撮影
氏　　名				
生年月日	昭和　　年　　月　　日生（　　歳）			
本籍地	都道府県名（　　）	性　　別	男　・　女	
ふりがな				
現住所	（〒　　－　　） （TEL　　－　　－　　）			
E-Mail				
ふりがな				
その他の連絡先	（〒　　－　　）			
	（TEL　　－　　－　　）			

（ 略　　歴 ）

年	月	学校・学部・学科・資格

※欄は、記入しないで下さい。

病院見学、訪問、説明会　申込書

平成　　年　　月　　日

氏　名		年齢	歳
住　所	〒		
電話番号			
連絡先 電話番号			
E－Mail			
大学名			
卒業年月 （予定）	年度卒業（予定）		
訪問希望日	第1希望日　　年　　月　　日　　曜日 第2希望日　　年　　月　　日　　曜日 訪問期間　　日間		
希望診療科			

※　申込書は1週間前までにE－Mail又はFAXにてお申込下さい。

※　訪問日は、申込み受付後、当院より追って連絡致します。

FAX　　096－365－1712

E－Mail　　byouinsoumu@city.kumamoto.lg.jp

熊本市立熊本市民病院